

# 非営利研究の急展開

## 21世紀に急増する非営利領域の専門学会

非営利組織（NPO）、非政府組織（NGO）、シビル・ソサエティ組織（CSO）、フィランソロピー、ボランティアなど、政府でも企業でも家族でもない領域（以下「非営利領域」という）に関する研究は様々な名称を持つが、その組織立つ研究潮流の淵源は、米国の学会 ARNOVA（www.arnova.org）の誕生に遡る。1971年に設立され、ジャーナル Nonprofit & Voluntary Sector Quarterly（NVSQ）が、同領域専門の学会誌として発行された。イギリスの ARVAC（www.arvac.org.uk）やフランスの ADDES（www.addes.asso.fr）などがそれに続いた。

非営利研究が一気に脚光を浴びたのは東西冷戦の終了によってである。旧ソビエトブロックで非営利組織が次々と誕生し、非営利研究は一大ブームが巻き起こるとともに、米国の制度だけを前提とした研究に限界が生じてきた。こうしたことから、1992年に国際学会として ISTR（www.istr.org）が誕生した。

現在では、非営利領域の専門学会が世界各国に広がりを見せ、37学会が活動を行っている。表1はその中の主な学会を示したものである。表の中で国際／国内の区分については、定期的に大会を複数の国で行っているものを国際学会、原則として1つの国内にとどまっているものを国内学会とした。また、国際学会のうち、ANZSTR（www.anzstr.org.au）はオーストラリアとニュージーランドの2か国だけであり、EMES（www.emes.net）と ERNOP（www.

ernop.eu）は、ヨーロッパ内にとどまっているので、大陸を越えて大会を開催しているグローバルな学会は ISTR だけである。

設立年次別で見ると、21世紀に入っからの急増が目につく。37学会のうち25学会は今世紀に入っからの設立である。

学会以外の動きとしては、1987年から教育・研究に力を入れていたインディアナ大学で、2012年に一研究科丸ごと非営利研究領域である「フィランソロピー研究科」が誕生、非営利領域での初めての専門大学院となった。

### ジャーナルの現状

Smithの調査によれば「非営利領域」関係の論文が掲載されているジャーナルは95種類を数えている。著者数は8,000名に及び、活動している研究者は世界で2万人に達すると推定されている（Smith 2013）。ジャーナルの言語に着目すると、英文誌が79誌、ついで、仏語と中国語が5誌と続く（筆者調べ）。今世紀に入っ急増しているのはジャーナルも同様で、49ジャーナルが創刊された（筆者調べ）。

中国では学会数はゼロであるが、ジャーナルが5誌も出ている。これは現在非営利研究の学会は中国当局に禁止されており、大学の研究所がジャーナルを発行しているからである。また、同志社大学の俞相成によれば、学会ではないものの若手研究者が中心となって作られたネット型組織である「公益慈善学園」が、中国のNPOセクターに関する論文や見解を定期的にソーシャルメディアで発信しているという。

ISTRの発行するジャーナル VOLUNTAS は、SPRINGERが発行することで毎年著作権料収入があり、それが学会の主要収入である。また、その収入を使い、アブストラクトは、原則として4か国語に翻訳されている。これは筆者の「言政学」という考え方に基づく提案を取り入れたものであり、アブストラクトの多言語化を実現した最初のジャーナルではないかと考える。

### 文化人類学との交錯

非営利研究は学際性を有した1つのディシプリンであり、人類学者との関係も深い。米国人類学会（AAA）は、SIG（特別関連領域部会）を設置しているが、非営利領域のSIGはその中で最大で、1000人の会員を持つ（Smith 2013）。近年、「NGO-graphy」の用語を目にする機会が多いが、その背景にはこのSIGの活動がある。

また、近年、「NGO-graphy」での活躍が目覚ましい小川晃弘がメルボルン大学で非営利研究の研究所の構想を有しており、アジア地域の将来的な拠点となる可能性を秘めていることにも注目していきたい。

### 【参考文献】

Smith D.H. 2013. Growth of Research Associations and Journals in the Emerging Discipline of Altruistics. *Nonprofit and Voluntary Sector Quarterly* 42(4): 638-656.

### ISTRのジャーナル VOLUNTAS におけるアクセプトの状況

	2011年	2012年	2013年
投稿数	163	188	236
査読終了数	158	194	214
アクセプト数	73	80	84
リジェクト数	85	114	130
アクセプト率	46%	41%	39%
平均査読日数	67	51	51
最終アクセプトまでの平均日数	179	168	149
最終リジェクトまでの平均日数	119	59	52

Voluntas 編集部調べ

### 主な非営利領域の学会

設立年	名称	拠点国	言語	国際・国内の別
1971	Association for Research on Nonprofit Organizations and Voluntary Action (ARNOVA)	米国	英語	国内
1978	Association for Research in the Voluntary and Community Sector (ARVAC)	英国	英語	国内
1982	Association for the Development of Documentation on the Social Economy (ADDES)	フランス	仏語	国内
1992	International Society for Third Sector Research (ISTR)	米国	英語	国際
1992	Third Sector Research Group India (TSRGI)	インド	英語	国内
1993	Australia New Zealand Third Sector Research (ANZTSR)	豪・NZ	英語	国際
1996	European Research Network (EMES)	ベルギー	英語	国際
1996	非営利法人研究会 (NPOBP)	日本	日本語	国内
2000	Korean Association of Nonprofit Organization Research (KANPOR)	韓国	韓国語	国内
2002	International Association on Public and Nonprofit Sector Marketing (AIMP)	スペイン	西語・英語	国内
2007	Association for Nonprofit and Social Economy Research (ANSER-ARES)	カナダ	英語・仏語	国内
2008	European Research Network on Philanthropy (ERNOP)	オランダ	英語	国際
2011	台湾第三部門學會 (TATSR)	台湾	台湾語	国内

### 文 出口正之

国立民族学博物館民族文化研究部教授。専門は Voluntarics（非営利研究）、Linguapolitics（言政学）。著書に『フィランソロピー』（丸善 1993）、編著書に『ボランティア革命』（東洋経済新報社 1996）、*Civic Engagement in Contemporary Japan*（Springer 2010）などがある。